

## 第10回 原子力委員会定例会議 議事録

<日時> 1992年2月25日(火) 10:30から

<場所> 原子力委員会会議室

<議題>

- (1) 平成3年度の原子力委員会による海外原子力関係者招へいについて
- (2) 原子力工業(株)東海製造所における核燃料物質の加工の事業の変更許可について(諮問)
- (3) 解体核物質の平和利用について
- (4) その他

<審議事項>

- (1) 議事録の確認  
事務局作成の第9回原子力委員会臨時会議議事録(案)が了承された。
- (2) 平成3年度の原子力委員会による海外原子力関係者招へいについて  
標記の件について、事務局から説明がなされ、審議の結果、セフィリノ・フォロコス フィリピン科学技術大臣を招へいすることを決定した。
- (3) 原子力工業(株)東海製造所における核燃料物質の加工の事業の変更許可について(諮問)  
平成4年2月12日付け3安(核規)第890号をもって内閣総理大臣から諮問を受けた標記の件について、科学技術庁から説明がなされ、引き続き審議することとした。  
注) 本件は、酸化ウラン粉末及び二酸化ウランペレット貯蔵量の増加に対応するため、原料貯蔵棚を増設し、最大貯蔵能力を増加させると共に、最大貯蔵量能力22トンUの原料貯蔵棚を新設し、また燃料集合体貯蔵量の増加に対応するため貯蔵棚の一部を改造し、最大貯蔵能力を増加させること等を行うものである。
- (4) 解体核物質の平和利用について  
標記の件について、科学技術庁から、解体核物質の安全管理及びその平和利用転用方策等への貢献策の検討状況に関し説明がなされた。